

ヨーロッパの香りをあなたに

中村 ゆかり

Yukari NAKAMURA (Vn)
Récital de la Nouvelle Année
Avec Kazuoki FUJII (au Piano)

新春ヴァイオリン・リサイタル

ピアノ：藤井一興

2015 1/21 水

19:00開演 (18:30開場)

浜離宮朝日ホール

(朝日新聞東京本社内)

Le mercredi 21 janvier 2015 à Hamarikyu-Asahi Hall
(Situé dans le bâtiment « Asahi journal » à Tokyo)

全自由席：4,000円 学生：2,000円

Programme

モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ ハ長調 KV.303 (293c)

W.A. Mozart : Sonate pour violon et piano en ut majeur KV. 303(293c)

サン・サーンス：ヴァイオリン・ソナタ第1番 ニ短調 作品75

C. Saint-Saëns : Sonate pour violon et piano no.1 en ré mineur op.75

グリーグ：ヴァイオリン・ソナタ第2番 ト長調 作品13

E. Grieg : Sonate pour violon et piano no.2 en sol majeur op.13

プロコフィエフ：ヴァイオリン・ソナタ第2番 ニ長調 作品94a

S. Prokofiev : Sonate pour violon et piano no.2 en ré majeur op. 94a

※曲目、曲順は変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

特別協賛：ジャパントイズ・ニフコグループ

協賛：葛西昌医会病院 中村ゆかり後援会

後援：スイス大使館

Avec le soutien de JAPAN TIMES-NIFCO Group

Avec la participation de Kasai-Shoikai Hôpital

et Comité de patronage de Yukari NAKAMURA

Sous le patronage de l'Ambassade de Suisse

チケット取扱

ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

朝日ホールチケットセンター 03-3267-9990

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

CNプレイガイド 0570-08-9990 e+ (イープラス) <http://eplus.jp/>

コンサートマネージメント：ミリオンコンサート協会 03-3501-5638



Yukari NAKAMURA(Vn)

中村ゆかり(ヴァイオリン)

●滞欧生活 20 年になり、心に直接語りかける豊かな音楽性と美しい音色と超絶技巧のテクニックを持つ本格的な実力派。世界的な名ピアニスト ブルーノ・カニーノに認められ「ゆかりとはいつでも一緒に演奏したい。貴女と共に演出出来る喜びに感謝します」と言われる。



東京都出身。3歳半より鷺見三郎氏に師事し、桐朋音楽高校1年16歳で渡仏、パリ国立高等音楽院に入学。卒業後スイスのジュネーヴ音楽院を経て、ベルン音楽院にてスイスで最高の博士号「ソリスト賞」を得る。その間、世界的な名ヴァイオリニスト、ヘンリック・シェリング、マックス・ロスタルに師事。スイスのヌシャテル交響楽団のコンサートマスターに招聘され、ソリストとしてもスイス、フランス、イタリア等でコンサートを行い、主要な新聞からも好評を得る。

日本でも、東京をはじめ各地でリサイタルを行い、フランスの名ピアニストミシェル・ダルベルト、日本を代表するピアニスト藤井一興、小林道夫らと共に、NHK・FMの公開録音等幅広く活躍し、CD「ヨーロッパを旅して」シリーズをリリースする。「中村ゆかり後援会」が設立される。

イタリアの名ピアニストブルーノ・カニーノと、'05年より'10年まで東京文化会館、紀尾井ホール、浜離宮朝日ホール、三越劇場等で毎年デュオ・リサイタルを行い好評を得る。

'07年より毎月1回日本橋三越本店カルチャーサロンで「中村ゆかりトーク・コンサート」を4年以上行い、現在は'11年9月より毎月1回土曜日に、日本工業倶楽部において「中村ゆかり 夢のトーク・コンサート」を行っている。長い滞欧生活で得た作曲家たちの知られざる逸話や歴史的背景等の幅広いトークも好評で、中村ゆかりのトークを交えたコンサートは、「ヨーロッパ音楽の真髄を感じさせる」等と好評を得ている。

両親と兄の長年の介護を通じて、社会福祉活動として病院や老人ホーム等でのコンサートに積極的に取り組んでおり、また絵画芸術とのコラボとして、美術館でのコンサートも行っている。

アクセス 朝日新聞東京本社内 浜離宮朝日ホール

- 都営地下鉄大江戸線・築地市場駅A2出口、3分。
- 地下鉄日比谷線・東銀座駅6番出口、築地駅1、2番出口から徒歩7〜8分。
- JR新橋駅銀座口から徒歩15分。
- 新橋駅銀座口から都営バス【市①系統】「中央卸売市場行き」または「朝日新聞循環」で「浜離宮前」または「朝日新聞社前」下車。

Kazuoki FUJII (Piano)

藤井一興(ピアノ)

東京藝術大学3年に在学中、フランス政府給費留学生として渡仏。パリ国立高等音楽院を作曲科、ピアノ伴奏科共に1等賞で卒業。また、パリ・エコール・ノルマル音楽院でピアノ科を高等演奏家資格第1位で卒業。その間、作曲をオリヴィエ・メシアン、ピアノをイヴォンヌ・ロリオ、マリア・クルチオ、ピアノ伴奏をアンリエット・ピュイグ＝ロジェの各氏に師事。

1976年以来、入賞した国際ピアノ・コンクールは、メシアン国際コンクール第2位、クロードカーン国際コンクール第1位大賞、モンツァ国際コンクール第1位、マリア・カナルス国際コンクール第2位をはじめ10以上にも及ぶ。ヨーロッパ各地や日本国内でのソロ・リサイタルや室内楽、オーケストラとの協奏曲のほか、ヨーロッパ各地の放送局や日本のNHKでの多くの録音・録画など幅広い活動を行っている。

CDも、メシアンのラ・フォヴェット・デ・ジャルダンやイゴール・マルケヴィッチ作品集、武満徹作品集、サン＝サーンス作品集、フォーレ作品集など、既に30枚以上をリリース。また、世界初のフォーレ・ピアノ作品全集の校訂を担当し、2013年現在、5巻までが春秋社より出版されている。



作曲家としても、多くの作品が国際フェスティバルなどで演奏・録音されている。クロードカーン国際コンクール、ブーランク国際コンクール、日本音楽コンクール等の審査員。1987年より十勝ひろびろ音楽祭に毎年招かれ、96年音楽監督に就任。

第1回村松賞、第3回グローバル音楽奨励賞、第10回京都音楽賞実践部門賞を受賞。

現在、東邦音楽大学・大学院教授、東邦音楽総合芸術研究所教授、東京藝術大学、桐朋学園大学各講師。

